

京都ものづくりを考える 伝統技能の応用から 最先端加工・プロダクトデザインまで

京都工芸繊維大学は、前身である京都高等工芸学校及び京都蚕業講習所の創設以来、110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探究する独自の学風を築き発展してきた工科系国立大学です。“伝統産業と先端産業の融合”、“地域資源と先端技術の融合”を目指し、新たな価値創造に向けて地域社会連携を積極的に推進しています。

そこで今回は、“伝統技能と先端技術の融合とはどういうものか”に焦点をあて、同大学院工芸科学研究科の3名の先生方を講師に迎え、下記の通り講演をお願いしています。また、講演後には美術工芸資料館「京都工芸繊維大学教員展Ⅱ」を視察し、交流会での懇親の場もご用意しています。

つきましては、伝統技能と先端技術の融合や産学連携にご関心の高い貴社へ、ビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

◆講演会

◇「マイクロ・ナノ加工が拓く新たな表面機能」

講師：京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 機械システム工学部門 教授 太田 稔 氏

◇「伝統技能の『間』と『按配』を活用したロボット技術」

講師：京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 先端ファイブロ科学部門 教授 森本 一成 氏

◇「商品の魅力をつくるプロダクトデザイン」

講師：京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 デザイン学部門 教授 山本 建太郎 氏

◆見学会 美術工芸資料館「京都工芸繊維大学教員展Ⅱ」

◆交流会 参加者全員による立食形式の懇親会・名刺交換会

(ご参考)[開催要領](#) [会場案内](#)

■日時：平成24年7月20日(金) 14:00～18:30

■会場：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町)

■参加費：無料(懇親会を含む)

■募集締切：平成24年7月18日(水)

■主催：京都工芸繊維大学 創造連携センター・ものづくり教育研究支援センター /
公益財団法人 リソな中小企業振興財団